

ICD-11改訂の動向

平成27（2015）年3月の第17回ICD専門委員会の時点では、平成29（2017）年の世界保健総会（WHA）承認を目指して分類作成作業が行われていた。しかし、WHOは平成27（2015）年4月のICD-11作成プロジェクトに関する外部評価を踏まえ、同年5月に、当初予定より承認が遅れるとする計画を公表し、同年7月に2015年から2018年についての新たなプロジェクトプランが示された。プロジェクトプランの主な内容は以下の通り。

1. 概要

主要マイルストーン

- 特にICD-11の死因・疾病統計のジョイントリニアライゼーション（以下、「JLMMS」という。）に焦点を絞ったICD-11の主要マイルストーンは、WHO執行理事会および2018年5月の世界保健総会（WHA）から承認を得ることである。
- 2016年および2017年に最新情報（アップデート）を執行理事会およびWHAに提供する。

優先的成果物

この期間中に開発すべき優先的成果物には次のものが含まれる。

- JLMMSタスクフォース、ICD改訂運営会議（RSG）の支援による死亡・疾病統計のジョイントリニアライゼーション（JLMMS）
- JLMMSに沿ったプライマリーケアおよび伝統医学コンポーネントの開発

重要なプロセス

- コンテンツ開発プロセス
- テストおよびピアレビュー

2. 今後の予定

コンテンツ開発プロセス

JLMMSの最初のテストを開始（2015年11月－2016年9月の期間）

ピアレビューを開始（2015年11月－2016年9月の期間）

2016年10月：改訂会議（日本で開催）

本格テスト戦略開始（2017年1月－9月の期間）

承認プロセス

2016年5月世界保健総会：ICD-11改訂プロセスとして2018年5月の世界保健総会での議論・採択を目標とすること及び採択までの段階的手順を提案

2017年5月世界保健総会：ICD-11改訂作業の進捗報告、2018年の採択を確認

2018年5月世界保健総会：最終成果物を採択